

< 検査内容変更のお知らせ >

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のお引き立てを賜り厚く御礼申し上げます。
このたび、下記項目におきまして、検査内容の一部を変更させていただきますのでご案内申し上げます。
誠に勝手ではございますが、弊社事情ご賢察のうえ、ご了承の程お願い申し上げます。

敬具

記

《実施日》 2020年 7月 1日（水） 受付分より

《変更内容》

項目コード	項目名	変更箇所	新	現	備考	検査案内記載頁
2103	総ホモシステイン	項目コード	2908	2103	LC-MS/MS法の採用	75
		項目名称	血中総ホモシステイン	総ホモシステイン		
		検査方法	LC-MS/MS	HPLC		
		基準値 (nmol/mL)	男性：7.0～17.8 女性：5.3～15.2	3.7～13.5		

※現法と新法の比較については裏面をご参照ください。

●血中総ホモシステイン

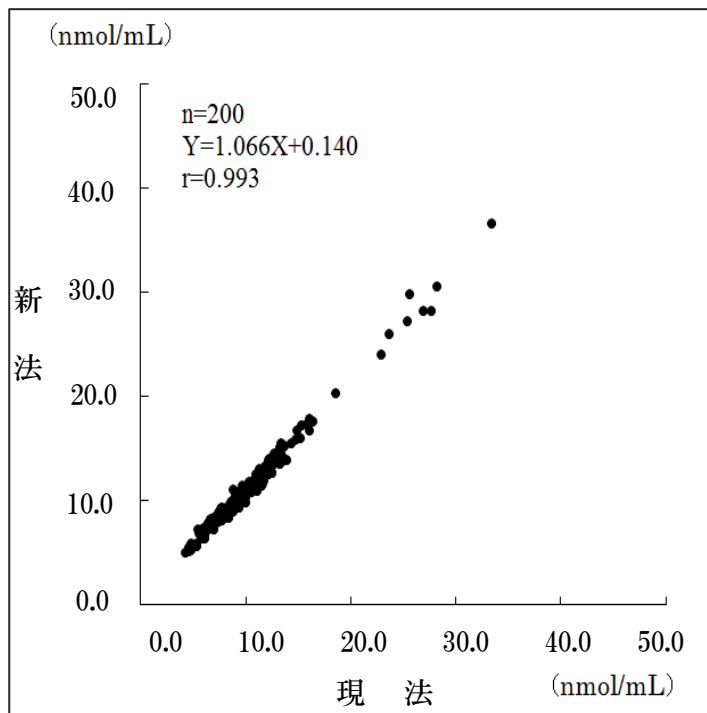
ホモシステインは、メチオニン代謝の中間代謝物として生成されるアミノ酸であり、総ホモシステインとは、タンパク質と結合している結合型ホモシステインとホモシステイン及び他の低分子チオール化合物と結合しているタンパク非結合型ホモシステインの合計をいいます。

先天性アミノ酸代謝異常症の一種であるホモシスチン尿症の診断には、血中メチオニン値や血中総ホモシステイン値などの特殊検査が用いられます。また、血漿中ホモシステイン濃度が著しく高値のホモシスチン尿症患者において動脈硬化、血栓症病変を発症することが報告されてから、冠動脈疾患、脳血管疾患患者においても健常者と比較し軽度ホモシステイン血症の頻度が高いと言われていています。

血中総ホモシステイン濃度を測定することは、ホモシスチン尿症の診断補助や動脈硬化性疾患に対するリスク予測マーカーとして有用です。

●現法と新法の比較

[血中総ホモシステイン]



(委託先検討資料)